

文京区住宅マスタープラン見直し等に関する調査の実施について

1 目的と概要

住宅マスタープランの見直しの検討に向け、「住宅白書」を作成します。

住宅白書は、住宅マスタープランの見直しを行うための基礎資料となるものなので、実態調査を行い関係する様々なデータを収集するだけでなく、区民意識調査を実施します。意識調査では、区民の意見を広く集められるよう調査項目を設定します。調査対象となる区民は、住民基本台帳を基に無作為抽出により選定します。

また、今後区は、住環境維持向上施策を推進していくことも考慮し、マンション管理適正化推進計画の策定に向け、分譲マンションの管理組合や賃貸マンションの所有者への調査も併せて実施します。これは、国がマンション管理適正化法を改正し、マンションの管理の適正化の推進を図るための基本的な方針を策定したことによるもので、この方針に基づき、管理の適正化の推進を図るための施策に関する事項等を定める計画を作成するものです。

2 調査内容について

本年度、業者委託し、区民等に対し次の3種の調査を実施予定

- 区民意識調査（資料3）
- 分譲マンション管理組合意識調査（資料4）
- 賃貸マンション所有者意識調査（資料5）